

がん相談支援センター インフォメーション VOL.1

がん相談支援センターを開設いたしました！

がん相談支援センターとは？

がんに関するあらゆる疑問や悩み心配事に対し、院内の各専門スタッフが問題解決のお手伝いや助言をさせていただきます。当院での受診の有無にかかわらず、相談対応させていただきますので、お気軽にご利用ください。

【相談内容】

がんに関する病状・治療・薬剤・看護・介護・食事・検診・医療費など。
医療訴訟目的及び裁判係争中の場合などは、相談をお受けできません。

【相談対象者】

当院での受診の有無は問いません。患者さんご自身・ご家族・知人・医療関係者など様々な方からの相談を受け付けています。

【相談費用】

無料（ただし、セカンドオピニオンは有料）

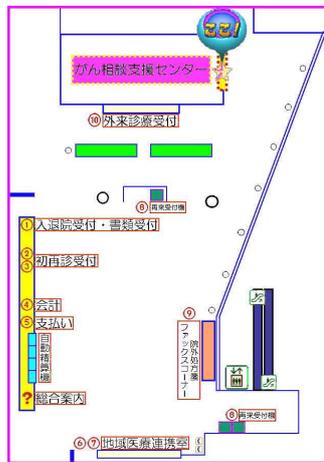
【相談の申込方法】

相談については**予約制**となっています。下記までご連絡願います。

(072)922-0881(代)

お問い合わせ等については、**がん相談支援センター**でも対応しています。お気軽にお声掛けください。

**受付時間：月曜日～金曜日（祝日除く）
9:30～16:30**



スタッフから一言

センター長（佐々木副院長）

がんに関する質問なら基本的に何でもOKです。気楽な気持ちでお立ち寄りください。

相談員（榊井副看護部長）

看護の悩み相談を受け付けています（内容により専門看護師が対応）。ちょっとした助言で心安らぐ看護が自宅でも出来るように一緒に考えていきましょう。

相談員（井谷メディカルソーシャルワーカー）

病気等に伴う心配事や不安について、一緒に考えることで、より良い方法が見つかるかもしれません。お気軽にご相談ください。

相談員（長井臨床心理士）

患者様やご家族の心のケアを行います。少しでも不安や辛さが減り、気持ちが軽くなるように一緒に考えていきたいと思ひます。



活動実績

相談実績

平成20年度の相談実績は以下の通りです。院内の医療スタッフや院外の専門施設等と連携をとりながら、様々な相談に対応しております。

平成20年度相談実績（4 - 9月）

	新規件数	継続件数	計
4月	24件	46件	70件
5月	30件	113件	143件
6月	37件	77件	114件
7月	39件	85件	124件
8月	28件	74件	102件
9月	30件	63件	93件
計	188件	458件	646件

市民医療公開講座

「がん」などの疾患の特長や治療方法等について、公開講座を開催しております。



第1回（平成18年10月7日）

「胃がん・大腸癌の診断と治療～がんは怖くない～」

第2回（平成20年1月26日）

「がんは“ここまで治る”」

第3回（平成20年10月18日）

「胃がんの診断と治療」

公開講座の様子を収録したDVDの貸出もしています。がん相談支援センターにお問い合わせください。

佐々木副院長(がん相談支援センター長)に聞く

【佐々木副院長略歴】

大阪大学医学部卒業。府立成人病センター消化器外科主任部長を経て平成19年1月に八尾市立病院副院長として着任。専門は肝胆膵外科(特に肝がん・胆道がんの外科治療)。また日本消化器外科学会・日本肝臓学会等、様々な学会の評議員も務めている。

Q. 肝臓がんの治療・研究については第一人者とうかがっておりますが、治療実績等を教えてください。

A. 20年以上に亘ってがん専門病院で肝胆道系のがんの外科的治療に携わり、肝臓がんの切除例数は1000例を超えています。また治療法の研究にも積極的に取り組んでおり、肝臓がんに対する「サンドイッチ療法」や「ラップ療法」を開発しました。

Q. ユニークで独創性に富んだ治療法・ネーミングですね。がん専門病院から来られた先生から見て、当院の医療スタッフ・設備、がん診療に関する体制等についてはどのような感想をお持ちですか？

A. 施設・設備等のハード面は非常に充実していますね。またスタッフについても、がんの診断・治療の技術は十分な実力があると思いますが、さらに切磋琢磨して診療の質の向上を図りたいと考えています。今後は、がん診療のシステムやコメディカルも含めたチーム医療についても、さらなる充実を目指して推進していきたいと思っています。

Q. がん相談支援センターの現状をどのようにお考えですか。また今後力を入れていきたいことは？

A. 相談件数は増加傾向にあり、一定の成果を得つつあると確信しています。がんに関する情報は書籍やインターネット等により収集可能ですが、その情報を咀嚼し判断することは難しいものです。支援センターでは必要に応じ専門のスタッフとともに相談に乗っていますので、ご遠慮なくお問い合わせください。今後も、がん患者の方のニーズに応えることができるよう相談・支援体制の益々の充実に取り組みます。

臨床心理士とは？



がんという病気を抱えて毎日の生活を送っていると、不安や心配事が増えたり、気分が落ちこんだりするのは当然のことです。臨床心理士は、そういう「こころ」の不安や辛さが少しでも和らぎ、前向きに病と向き合える為のお手伝いをしたいと考えています。

具体的には、悩みや辛さ、悲しみ等や今までどんな状況におられたか等について詳しいお話をじっくりとお伺いします。一人で悩んでいるときは堂々巡りになってしまう事でも臨床心理士とのやりとりを通して、自分の中の考えが徐々に整理されていき、それまで見えていなかった事に気づくことがあります。

少しでも気持ちが軽くなり、明るく生活していただけるよう、一緒に考えていきたいと思えます。もちろん、これらの相談については秘密を厳守します。気軽にご相談ください。

対象となる方

当院に入院中あるいは外来受診されている患者様、およびそのご家族。

例えば.....

やる気がでない、眠れない、気分がすぐれないなどの状態が続いている。

治療に関して不安に思うことがあるが、なかなか相談ができない。

介護の疲れや心配事がある、不安やいらいらする状態が続いている。

家族関係や人間関係にしんどさを感じている。



相談方法・料金

相談は原則予約制になっています。番ブースにお問い合わせいただくか、担当医師、看護師にお声がけ下さい(料金は無料)。

ソーシャルワーカーより

必要に応じて院内の医師や看護師などのスタッフ、地域の医療機関や往診医・訪問看護師、ケアマネージャーや社会福祉機関、市役所等と連携しながら、病気になっても自分らしく生活する事が出来るよう、患者様やご家族と一緒に考えていきます。些細な事でもお気軽にご相談ください。

入院中や自宅での治療・療養生活の中で困った事はありませんか？

病気に伴って起こる様々な不安や悩みについて、医療ソーシャルワーカーが相談をお受けします。

在宅医療や介護の事がわからない

福祉制度を利用したいがどうしたらいいの？



医療費が高くて、治療を続けられるか心配

専門の治療を受けられる病院をどうやって探せばいいの？

こんな相談は誰にすればいいの？